

【法人スポンサー連絡会】 台湾支部 25 周年記念 International Congress 2024 参加報告

開催日：2024年10月26日～10月27日 @台中市、台北市

報告者：端山、谷口、楠川
(発表者：谷口、楠川)

アジェンダ

1. 台湾25周年記念 International Congress 2024概要
2. 基調講演① (Mr. Pat Lucey)
3. 基調講演② (TSMC)
4. パネルディスカッション
5. 交流会
 - Welcome Dinner
 - Ceremony and Reception
 - リーダー層
6. 参加所感



1. 台湾支部 25 周年記念 International Congress 2024 概要

- PMI台湾支部の25周年を記念し、AI時代における技術と持続可能なイノベーションをテーマに、多彩な講演やセッションが行われた

- 開催日: 2024年10月26日（土）～10月27日（日）
- 開催地: 10月26日: 台中 裕元花園酒店
10月27日: 台北 集思北科大會議中心 感恩廳
- 主催: PMI台湾支部
- 共催:
 - 国立台中教育大学管理学院（台湾中部に位置する教育大学の管理学部）
 - 台北市政府情報局（台北市政府の情報技術部門）
 - 台湾上場企業協会中台湾女性フォーラム連合会（女性リーダービジネスフォーラム）
- 協力:
 - 農村発展及び水土保持署（台湾の農村開発と水土保持を担当する政府機関）
 - 逢甲大学プロジェクトマネジメント修士在職学位課程（台湾の私立大学である逢甲大学のプロジェクトマネジメント修士課程）
- スポンサー:
 - 巨鷗跨界智慧集団（台湾の大手IT企業）
 - 長宏プロジェクトマネジメント顧問有限公司（台湾のプロジェクトマネジメントコンサルティング会社）
 - 福貞控股股份有限公司（台湾の食品包装企業）
 - 天思数位科技股份有限公司（台湾のデジタルテクノロジー企業）

2024/10/26(六) 時間 Time	議程 Program (B1國際演講廳)	2024/10/27(日) 時間 Time	議程 Program (感恩廳)
08:30-09:00	註冊報到 Registration	13:00-13:30	註冊報到 Registration
09:00-09:10	開幕致詞 Opening Speech	13:30-13:40	開幕致詞 Opening Speech
		13:40-13:50	貴賓致詞 Guest Speech
09:10-09:20	貴賓致詞 Guest Speech	13:50-14:30	Innovate, Execute, Lead : Bridging Technology, Culture, and Sustainable Innovation in the Era of AI
09:20-10:00	Innovate, Execute, Lead : Bridging Technology, Culture, and Sustainable Innovation in the Era of AI	14:30-15:10	AI驅動・智慧臺北 Taipei: An AI-Driven Smart City
10:00-10:40	Evolving Project and Product Management Methodologies in the Age of AI-Augmented Digital Transformation		
		15:10-15:40	休息時間 Break Time
10:40-10:45	"PMI Region 9 Project Management Case Competition 2024" 國際得獎隊伍"Eco4Ring" 頒獎	15:40-16:20	為人工智能主宰下的專案管理未來做好準備 Preparing for a Future of AI-Powered Project Management Landscape
10:45-11:00	休息時間Break Time		
11:00-11:40	產業中的AI應用	16:20-17:00	數位創新產業座談
11:40-12:20	『北富銀專案案例分享與AI應用』實務分享		
12:20-13:30	午餐 Lunch		
18:30-20:30	2024 PMI專案管理大獎(PTGA)頒獎典禮 暨國際菁英交流晚宴 2024 PMI Taiwan Grand Award (PTGA) Award Ceremony and Reception		

今回のフォーラムでは、PMI本部、台湾積体電路製造（TSMC）、富邦商業銀行、台北市政府情報局などから著名な講演者が登壇。PTGAの授賞式と国際的なエリート交流夕食会も実施され、台湾をはじめカナダ、香港、日本、韓国、モンゴル、ドイツ、マレーシア、アメリカなど9か国から500人以上が参加。2日間に渡って開催され、のべ700名が参加する大規模イベントであった。

2. 基調講演① (Mr. Pat Lucey)

09:20-10:00

Innovate, Execute, Lead : Bridging Technology,
Culture, and Sustainable Innovation in the Era of AI

Mr. Pat Lucey,
Board Director, PMI

- PMI理事のPat Lucey氏よりPMI本部が発表している、AI時代のプロジェクトマネジメントの進化について基調講演がなされた。

「革新、実行、リード：AI時代における技術、文化、そして持続可能なイノベーションの架け橋」

"Innovate, Execute, Lead: Bridging Technology, Culture, and Sustainable Innovation in the Era of AI"

Speaker : Mr. Pat Lucey, Board Director, PMI

講演内容抜粋

①プロジェクトの成功＝「価値＞努力＋費用」

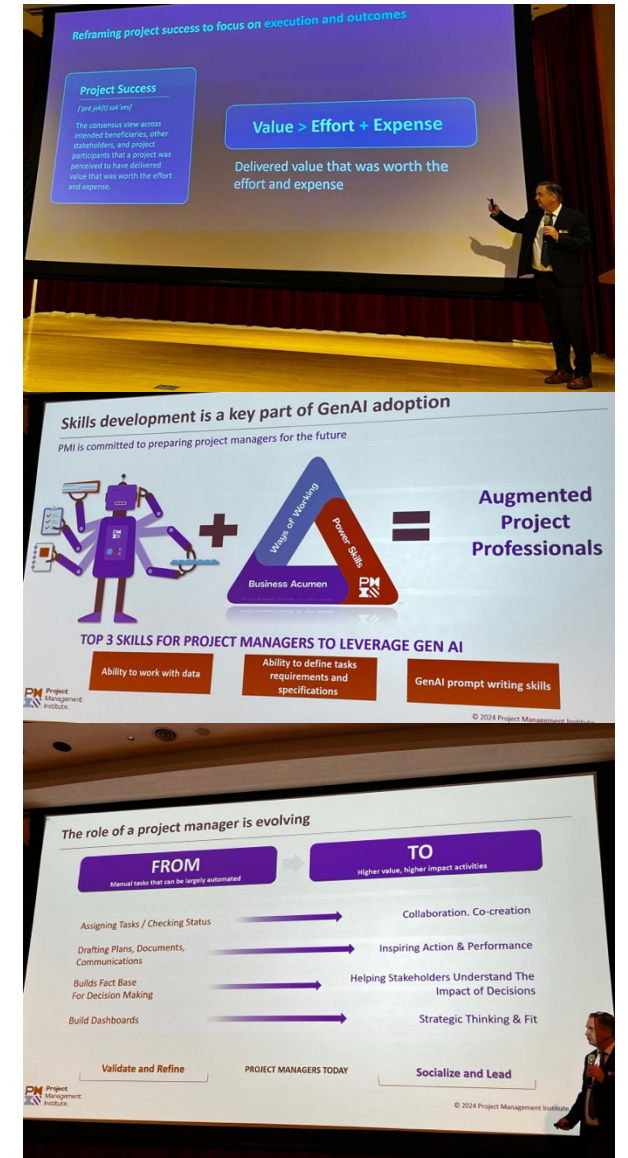
プロジェクトが意図された利益や価値を提供できたかどうか重要。

②GenAI導入に必要なスキル

GenAI（生成AI）を活用するためのプロジェクトマネージャーに求められるスキルとして、「データ操作のスキル」「タスク要件の定義スキル」「GenAIプロンプト作成スキル」の3つが挙げられた。

③プロジェクトマネージャーの役割の進化

プロジェクトマネージャーの役割が、タスクの割り当てや文書作成などの手動作業から、コラボレーションや意思決定の影響を伝えるなどの高価値な活動へと移行する

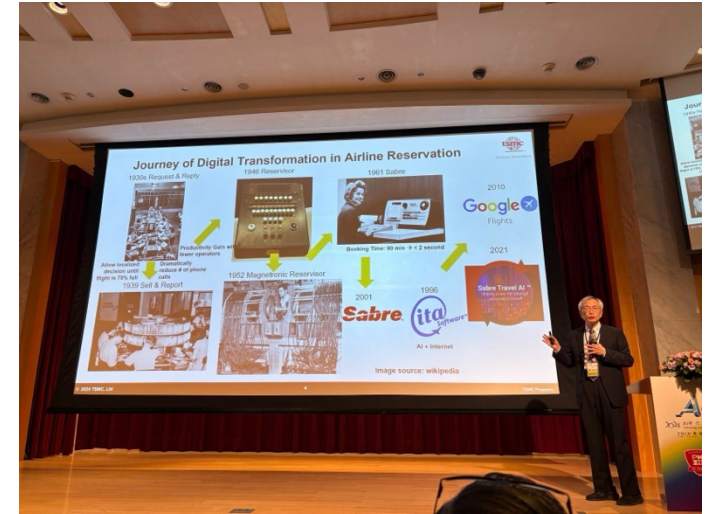


3. 基調講演② (TSMC)

- 台湾積体回路製造 (TSMC, IEEE Fellow) の李中生(Chung-Sheng Li)氏が、AIを活用したデジタルトランスフォーメーションにおけるプロジェクトおよびプロダクトマネジメント手法の進化について講演。

IBMやアクセンチュア、PwC、TSMCでのAIやデジタル変革の経験を活かし、これらの技術がプロジェクトや製品管理にどのように関わっているかを講演。TSMCにはほとんど言及せず。デジタル変革の成果を実際に収益に結びつけた企業は少数。AIがプロジェクト管理の中核的役割を担いつつある。

- DX、AI、エンタープライズアーキテクチャが統合され（相乗効果を引き出し）ながら進展
それを支えるのがプロジェクトマネジメント
- 航空予約システムの進化を例に、変革のプロセスが数十年かけて進むことを説明。
- AIの影響増大：AIがDXを推進する。
AI利用にAgileアプローチが有効。社会実装を繰り返して製品／サービスを洗練する
- AIによるプロジェクトマネジメント支援(Augmented): Waterfall/Agileそれぞれに活用
どこにどのようにAIが使えるか列挙、同時に課題も整理
- AIによる業務プロセス→常時監視型へ：
財務／会計の監査方法（定期→常時）
生産管理（半導体）もAI利用できめ細かな制御が可能になる
- AI-Augmented DX: 意思決定、データ収集解析、業務活動にAIが大きな影響をもたらす



4. パネルディスカッション

- 最終日程のパネルディスカッションでは、香港支部・マレーシア支部、台湾支部の代表者が、AI（人工知能）が与える影響について意見交換がなされた。

(概要)

保険、コンサルティング、デジタル業界のパネリストが、それぞれの業界におけるAIの進展とその課題、未来の展望について見解が共有された。

・AIの導入による業界への影響：

AIは交通・小売業・ヘルスケアなど産業や業界を横断して影響を与えていることを共通認識とし、各パネリストが所属する業界の事例が共有された。

- ー保険業界：顧客体験の向上やデータの信頼性維持
- ーコンサルティング業界：業界特化型のチャットボットの開発。コンサルタントの負荷軽減
- ーテクノロジー業界：AIを活用しAIソリューション自体を開発し、開発期間とコストを削減(40h→8h)

・AI導入への阻害要因と対応：

レガシーシステムや組織文化が新技術の導入の障害となっていると指摘したうえで、段階的アプローチをとりながら、組織文化への適応と従業員のスキル・マインドセットの向上が鍵とした。

- ーロードマップを作成し、1年後、3年後と段階的な適応方法を計画化
- ー従業員の段階的なイノベーションの受け入れと、パワースキルによる共通理解の醸成

・AIによる新しい職業の創出：

プロンプトエンジニアやAIクリエイターといった新たな職業の登場が見込まれ、急速な技術進化に対応するため、企業内でのAI教育や生涯学習が重要。

- ープロジェクト・マネジャーには、AI利用者とAI開発者の間を橋渡しする役割を期待
- ーランチセッションのようなトレーニングプログラムにAI教育を統合すること



We build an AI chatbot to answer basic questions and minimize the effort of our consulting team.

Culture is a main problem because they will need to adapt this kind of mindset that they will need to continue to learn.

Culture can hinder transformations, so we need hard and power skills for communication to align everyone."

Project managers will act as bridges, connecting AI creators with its users to facilitate collaboration and implementation."



5. 交流会・授賞式 (Ceremony and Reception)

18:30-20:30

2024 PMI專案管理大獎(PTGA)頒獎典禮 暨國際菁英交流晚宴

2024 PMI Taiwan Grand Award (PTGA) Award Ceremony and Reception

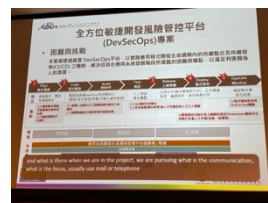
- イベント前日には、各支部ボードメンバー同士の交流の場が設定された。
- 10月26日の夜には、2024 PMIプロジェクトマネジメント大賞（PTGA）の授賞式と交流夕食会が開催され、参加者同士のネットワーキングが促進された。

・Welcome Dinner (右上)

- ✓ 台湾支部理事長であるEric氏より各支部への感謝の挨拶により開会。食事や旅行などの会話で和やかに始まり、言語や文化の違いを乗り越え方や働き方の意見交換がなされた。
(Ex: ジェスチャー、ユーモアの活用。)
- ✓ 若者のエンゲージメント施策に関しては、各国より取り組み事例の共有を頂いた。
(Ex: 若者に人気のある講演者の招待、若者向けショート動画の作成、台湾における、Hours for Impactに若い世代への関与の促進)

・Ceremony and Reception (右下)

- ✓ PMI台湾プロジェクトマネジメント大賞(PTGA)の授賞式が行われ、それぞれの部門から企業・個人が表彰を受けた。
 - ・ エンタープライズプロジェクトマネジメントベンチマーク賞、EPBA (5社)
 - ・ 2024年特別プロジェクト賞、DPA (7社)
 - ・ 優れたプロジェクトリーダー、OP (2名)
- ✓ EBPAを受賞した企業の一例として、台湾の大手商業銀行が、DevSecOpsという包括的なアジャイル開発リスク管理プラットフォームのプロジェクトで受賞した。
 - ✓ 台北富邦商業銀行股份有限公司 (Taipei Fubon Commercial Bank Co., Ltd.)



桃は命の木とも呼ばれ、永続的な支部の発展を願った。

6. 交流会（昼食会や個別会話を通じたリーダー層との交流）

- ランチ会では、各支部の会長・理事長とは別テーブルとなり、理事やリーダー層で構成されたことから、現場レイヤーにおける懇親を深めることが出来た。（谷口・楠川）

- 台湾支部 Tao Chun氏
- マレーシア支部 Mei Yi Tan氏

①若手のエンゲージメント方法の事例

- ・日本において、「漫画」の事例をもっと活用し増やしていくべきだとの意見を頂いた。若者自身が、自ら体験型で学んでいくためにボードゲームを活用したワークショップの事例の紹介を受けた。
- ・PMスキルを最初から教えるのではなく、対人スキルやプレゼンスキルなどから導入したほうが効果的であり、さらに興味関心を得るためには、「デート」をテーマにしたコースも男子学生に人気だという。
- ・シニアが若者に教えるのではなく、双方向で互いの得意分野を教え有う場が、若者自身が受け身ではなくより自立的になるとのアドバイスを頂いた。

②国を超えた互いに学び合う場の構築

- ・日本では企業が社員の教育を担う文化が一般的であり、自らの学びが求められるマレーシアとの文化の違いもある。
- ・日本とは言語の壁を感じる点もあるが、Next Generationをターゲットにした相互のコラボレーションが出来ないか。



Tao Chun氏



Mei Yi Tan氏



台湾ボランティア、各支部理事の方々



各支部の理事、APの方々

6. 参加所感（端山会長）

- 台湾支部は（も）いくつかのスポンサーの影響が大きい様子。今回は台中教育大学管理学院が共催し、Dean(学部長？学院長)が出席。台北市の支援も得ている。
- 例年通り、盛大な表彰。ただし、会議本体ではなく、交流会で表彰式、撮影。（いつもながら写真撮影に拘り）
- 台北市にDepartment of Information Technology（資訊局）という部署がある。台中市にもあるとのこと。機構図を見る限り、かなりの規模。局長は大学から専門家を招聘。市政府のデジタル化を推進。
- PMI本部理事 Pat Lucey氏の講演は、PMI:Nextやプロジェクト成功の定義など、PMI本部方針に沿ったものではあるが、自身の経験、経歴を絡め、自分の言葉で語っていて好感が持てた。
アイルランド出身で、アメリカともイギリスとも異なる経歴と見識
田舎町で育って、都会に出なければ教育も職も得られなかった
大手企業で技術者として経験を積んだ後、起業。その会社を売却。自身の資産と時間を使ってNPO活動に従事、貢献。
「アメリカ人のように楽観的にはなれない」
（日本人には付き合い易そうな人だった）
- 若手施策リーダーを連れてきたと紹介したところ、
「日本支部はまた新しい試みを始めたね」と好意的な反応だった
- Tao Chun Liu(台湾), Mei Yi Tan(マレーシア) など、若手向け施策での協業に積極的



6. 参加所感（谷口：未来創造プログラムリーダー）

□ 台湾コンgresへの出張を通じて

- PMIの魅力の一つである各個人の圧倒的な熱量に触れるとともに、今までの自身の価値観を覆すような刺激的な3日間であった。
- 主となるテーマは「AI時代」であったが、背後に「キャリア」という大きな潮流を感じた。PMIのPat Lucey理事、TSMCのChung-Sheng Li博士ともに、自身のキャリアを語るなかで個人と組織の相乗効果による成長と変革の必要性を強調した。

□ 日本人もっと発信し、コラボし、新たな価値創出に向けて参画すべき

- 各国リーダとの交流を通じ、日本が（自身も）会社からの期待に応える「Must」「Can」が重視され、相対的に「Will」が置き去りにされている点を痛感した。
- イノベーションによる変革の時代においては、Willを持ち、それを発信して、コラボすることで、互いに成長し、自身と組織を常にアップデートし続けることが重要。

□ 未来創造プログラムを次のステージへ

- Tao Chun氏、Mei Yi Tan氏とつながりが持てたのは大変有意義であった。このつながりを発展させるべく、次の中期計画を検討し、推進していきたい。
（短期）受動的な学びの場から、参加者が自律して能動的に学ぶ相互研鑽の場へ
（中期）文化や価値観の異なる場として越境の学びの場へ（各支部との連携）
- 自身としても、内外で発信しながらコラボし、新たな価値を生み出していきたい。



キャリアは適応と学びを通じて進化する。

Most people don't have a career plan; it evolves over time based on interests and skills. The skills that you're born with, and those you develop along the way, shape your career.

You have to align the overall company direction with the individual's goals.

6. 参加所感（楠川：未来創造コミュニティ代表）

□ 講演を通じて

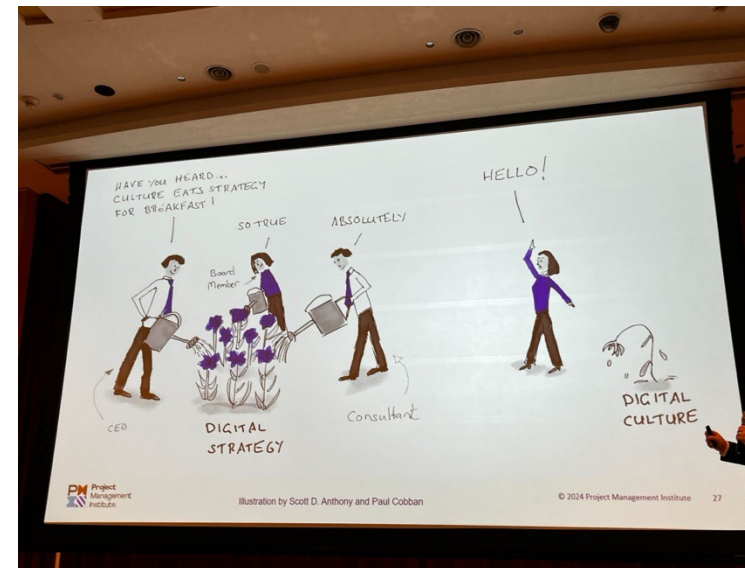
- AI時代が来ることをまっすぐと受け止め、「どうAIと“協業”していくか」を考え、“人”のできる本質的な仕事は何かを考える必要があると危機感とともに感じた（AIを“持ち歩くだけの人”になってはいけない）
- 国や自治体を絡めたリーダーシップ教育への本気度やプロジェクトマネジメントの重要性を強く感じた。
日本で国や自治体、教育機関を主導にした教育やマネジメント推進にこれだけ力を入れているところはあるだろうかと思った。

□ 交流会を通じて

- Region9のメンバの温かさと、熱量を非常に感じた
「～な世界を作りたい！」という思いを多く受け取った
- みな交流に積極的でかつ英語を当たり前第2外国語として話せており非常に一個人として刺激的な場であった

□ 今後の活動への活かし方

- 未来創造コミュニティの取り組み内容をもっと外へ発信しながら、いろんな若手層に興味を持ってもらうようなマーケティングが必要。（例：活動レポート、オープン開催など）
- 他の若手コミュニティとの交流などの外側との接点を増やし、ニーズを集め、活動に活かしていきたい



印象に残ったスライド



What's appによる活発なコミュニケーション。
このチャットで各支部の方とも、溶け込むことができました。

Thank You

